

KAWASAKI STEEL GIHO
Vol.21 (1989) No.3

Computer Simulation of Microstructural Changes in Controlled Rolling and Accelerated Cooling of High Strength Low Alloy Steel

(Yoshiyuki Saito)

(Chiaki Shiga)

•

()

()

(1)

Nb(C,N)U a c X Y g c Z W U f V c b] h

Z Y f f] h Y · fl L · d \ U g Y · h f U b g Z c f a U h] c

have developed for the purpose of executing computer simulations of changes in controlled-rolling and accelerated-cooling processes.

controlled rolling predicted by the model are in good agreement with

Simulations of Yg_{1-x}Zr_xCB₆ indicate that the thermal cycle from the end of re-

Wc`b] ` \U YUagJhHbWbhZzWd b YKd f uWcbawX gfc WgY gl

(c)JFE Steel Corporation, 2003

高張力鋼の制御圧延・加速冷却における組織変化の コンピュータシミュレーション*

川崎製鉄技報
21 (1989) 3, 195-201

Computer Simulation of Microstructural Changes in Controlled Rolling and Accelerated Cooling of High Strength Low Alloy Steel

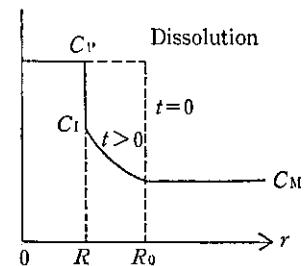
要旨

炭窒化物析出, オーステナイト (γ) → フェライト (α) 変態, γ

$\gamma \rightarrow \alpha$ 変態、 γ および α 粒径変化の予測モデルを説明し、とくに Nb(C, N) の歪誘起析出、 $\gamma \rightarrow \alpha$ 変態に及ぼす圧延後の熱履歴の影響、直送圧延における γ および α 粒径変化についてのシミュレーション例を紹介する。

2 コンピュータシミュレーションモデルの概要

2.1 基本概念



炭窒化物形成元素のモル濃度, ΔG_v は核形成にともなう自由エネル

Table 1 Rolling conditions used for computer simulation

Fig. 5 に示す。また、成長速度 v と時間 t を $v = \alpha t^{1/2}$ で結び付け
る parabolic rate constant α の温度依存性を Fig. 6 に示す。また
800°C から 15 mm の厚板が相手ナフロ 0.5°C/s の速度で冷却した場合

の変態率の変化も同時にプロットした。低 C 低 Mn 鋼では核形成、成長とも速く、変態が急速に進行することがわかる。低 C-低

で空冷した後、それぞれ、8, 10, 12°C/s の冷却速度で強制冷却したときの初析 α 生成反応が Fig. 7 に示されているが、冷却速度の変動に伴う変態運動の変化は小さく、車掌したか前の新羅麻江トロ

TS-44化学生物学研究会の開催地は、東京、大阪、福岡、名古屋、仙台、札幌の六箇所である。

した変態組織分率と ATS との関係は以下に示す実験式で記述される。

$$\Delta TS (\text{MPa}) = -4.0 (\text{MPa} \cdot \text{mm}^{1/2}) \Delta d_a / d_a^{-3/2} + 1.0 \Delta V_p + 2.5 V_B + 13.2 V_M \quad \dots \dots \dots (16)$$

ここで、 ΔV_p は水冷によるパーライト体積分率化（%）、 V_B 、 V_M はそれぞれペイナイトおよびマルテンサイト体積分率（%）を表す。また $4d_a$ は水冷による α 粒径変化を示す。(16) 式の右辺が冷却速度の関数である。

0.02 以上においては P_T と ΔTS および第 2 相分率との間に直接関係が得られ、 P_T がオンラインでの制御パラメータとして適切であることが示されている。

3.2 製造条件の最適化

目標とする材質の鋼板を制御圧延・制御冷却により安定に製造するため、組織の制御に加えて、製造条件、とくに冷却条件を最適化

